

令和5年度 シンポジウム

老朽橋梁の軽量盛土への更新による インフラ長寿命化

日時： 2023年11月17日(金) 14:00~16:25

会場： 【JR博多シティ会議室】 JR博多シティ会議室大会議室
[10階] (A+B+C+D室)

定員： 120名 参加費：無料 CPD：2ポイント

主催 RBH 技術研究会

我が国における軽量盛土工法は、軽量盛土材として1985年に発泡スチロールを導入して以来、急激に発展してきました。その中で現場形状に追随しやすい気泡混合軽量土と硬質ウレタンフォームは、交通車両の規制を軽減した工法として確立しています。

一方、我が国においては橋梁の老朽化が社会問題となっており、特に市町村道にかかる橋梁は約50万橋に上り、その対策が急がれております。我が国ではインフラ老朽化への対応として「予防保全」の考えを基本としており、近年では老朽橋梁の桁下空間に軽量盛土材を補強材として設置される事例も増えてきております。

RBH 技術研究会は2018年に老朽化橋梁の軽量盛土による土工化を技術的に確立するために発足し、2023年度に適用範囲に制限を設けた形で「RBH 工法設計・施工マニュアル」を発刊するに至りました。その基本コンセプトは3つです。

- ①橋梁の補強ではなく土工化による維持管理の負担軽減
- ②可能な限り、既設橋梁を供用したままの土工化（通行止めを行わない）
- ③2種類の軽量盛土材のハイブリット工法

今回のシンポジウムでは、「インフラメンテナンスの現状と課題」に関して、日野伸一九大名誉教授の基調講演を受けて、RBH 研究会技術研究委員より同マニュアルとその実験例を皆様にお伝えし、皆様のご意見を頂きながら、安全で使いやすい技術の向上をめざしていきたいと考えています。日本の抱える老朽化橋梁の問題解決の一つの方法としてお役立ちできれば幸いです。一人でも多くのシンポジウムへの参加を心よりお待ちしております。

(連作先：RBH 技術研究会 事務局)

〒456-0062 愛知県名古屋市中熱田区大宝4-9-27 TEL:052-688-0210)

RBH技術研究会 RBH工法設・計施工マニュアル 初版発刊記念講演

令和5年度 シンポジウム

老朽橋梁の軽量盛土への更新よるインフラ長寿命化

プログラム

14:00~14:05 開会の挨拶 RBH技術研究会 会長 横田漠氏

14:05~14:45 基調講演：インフラメンテナンスの現状と課題

講師：九州大学名誉教授、(一財)九州建設技術管理協会 理事 日野伸一氏

14:45~15:25 講演：RBH工法の概要と設計施工マニュアルに関して

講師：RBH研究会技術研究委員長、宮崎大学工学教育研究部 教授 末次大輔氏

15:25~15:35 休憩

15:35~16:10 講演：発泡ウレタンが充填された橋梁の振動モニタリング

講師：RBH研究会技術研究委員、宮崎大学工学教育研究部 助教 神山惇氏

16:10~16:20 質疑、フリーディスカッション

16:20~16:25 閉会の挨拶 RBH技術研究会 広報委員長兼技術委員 春田義信氏

申し込み方法

Googleフォーム 左記のQRコードまたは右記URLからアクセスしてください。 ⇒ <https://forms.gle/7Bu2YkrBjkYzz53J9>

e-mail rbh.nfi.2018@gmail.com

FAX 052-682-6909

メール、FAXの場合は下記用紙にご記入の上、送信してください。



RBH技術研究会 シンポジウム申込用紙 2023年11月17日			
会社名：			
連絡先：			
番号	所属	名前	CPD希望者は○
1			
2			
3			
4			

申込〆切日：2023年11月8日 先着順